



さくら・ららら

校長だより（地域公開版）

令和8年7月18日

本日は湖南小学校地域公開にご来校いただきましてありがとうございます。また、平素より学校運営にご理解ご協力いただいておりますことに感謝を申し上げます。

さて、本校も7月23日から夏休みを迎えますが、運動会などの全校行事や学年行事、日々の学習の中で児童の皆さんは様々な学びを高めることができたと思います。特に今年度より毎週水曜日に実施した「わくわくタイム」



わくわくタイム



では、自分をもっと学びたい学習や苦手を克服したい学習などを視点に、児童の皆さんが学習内容を考え「自分から自分で」時間いっぱい学ぶ主体的な姿を多く見ることができました。また、異学年の友達と意見交換をしたり、学級担任以外の先生に疑問点を相談したりと、新しい出会いから自分を高めて行く素晴らしい姿が見られました。

年度当初にお配りした「学校だより」でもお伝えしましたが、湖南小学校は「子ども達一人一人を全職員で育てる」「どの職員にも相談ができる」ことを大切にしています。夏休み以降も、学級の枠を超えた児童の皆さんへのポジティブな声かけ、8月26日に計画している「児童相談

の日」を担当以外とも話ができる日にする、教科担任制の推進、困った時や悩んだ時のサポートセンターの活用などに積極的に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

A I時代の「大人の役割」とは？

「A Iに相談をして児童相談所に連絡した」というニュースが話題になりましたが、小学校高学年児童の4割が悩みをA Iに相談をしているという結果が某学習塾のアンケートに現れました。学校でも様々な学習の場面でA IやI C T機器を活用していますので、これからますますA Iは身近な相談役になっていくと思います。反面、そのアンケートには保護者の考えも集計されていて、「A Iよりも人による指導が大切」と考える保護者が8割いることも興味深い結果だと感じました。長野大の早川先生は「子ども達に生き方を背中で語ったり、生きることの憧れを感じてもらったりすることは人にしかできない」と述べています。私事です、私の実家は牧場（乳牛）を営んでいて、父母は早朝から晩まで牛の世話ばかりでした。遊びに連れて行ってもらったり、勉強を教えてもらったりしたことはあまりないのですが、父母の弱音や文句を言わず明るい笑顔で黙々と働いている背中を見て学んだことが、私の今の生活の中に生きてるように感じます。すぐにA Iに相談し、その答えを信じる今の子ども達に、私たち大人は何をどう教えていくのかを改めて考えていきたいと思います。



お願い

① 日頃より学校運営をお支えいただいている「学校運営協議会」や「キョロブラ活動」について

児童の皆さんの安心安全な生活や学びに向け、学習支援や学校環境整備、交通安全の見守りなどを積極的にご支援いただき大変に感謝しております。その中で昨今からの課題として、中心となって運営をしていた皆さんの高齢化に関わる課題があります。そこで関係者で相談し、「検討委員会」を設立して学校運営協議会、P T A、学校が連携し現状の把握や今後の取組について協議をすることとなりました。本校にとりまして「学校運営協議会」も「キョロブラ活動」もなくてはならない存在です。持続可能なよりよいものとなるようにP T Aや地域の皆様にお考えを聞きながら進めてまいります。ご理解をお願いいたします。

② 夏休みとなります

楽しい夏休みですが、つつい浮かれた気持ちから事件や事故につながりやすい長期休みとなります。特にインターネットに関わること、交通事故、水の事故などで、小学生が悲しい思いをする事案が後を絶ちません。各ご家庭で、お子様と一日の様子をゆっくりと話す機会をおもちください。